

神奈川県がん診療連携指定病院の新規指定について

1 新規指定申請について

次の病院より新規指定申請があった。

医療圏名	病院名	所在地	病床数
横浜※ ¹	国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	横浜市栄区桂町132	430床
川崎南部※ ²	日本医科大学 武蔵小杉病院	川崎市中原区小杉町 1 - 383	372床

同一医療圏のがん診療連携拠点病院（以下、「拠点病院」という。）、神奈川県がん診療連携指定病院（以下、「県指定病院」という。）

※ 1 横浜医療圏 拠点病院 10 指定病院 3

※ 2 川崎南部医療圏 拠点病院 3 指定病院 0

2 書類審査及び現地確認

申請書類の審査及び令和7年2月12日に現地調査を行い、県指定病院の指定要件について、すべて充足していることを確認した。

がん治療提供の診療実績の状況（令和5年1月1日～12月31日）

拠点病院ではA要件であるが、指定病院ではC要件（望ましい）となっている。

項目	拠点病院基準	横浜栄共済病院	日本医科大学 武蔵小杉病院
院内がん登録数	500 件以降	847 件	1,078 件
悪性腫瘍手術件数	400 件以上	764 件	668 件
薬物療法延べ患者数	1,000 人以上	858 人	1,523 人
放射線治療延べ患者数	200 人以上	223 人	128 人
緩和ケアチームの 新規介入患者数	50 人以上	54 人	51 人

(3) アピールポイント

ア 横浜栄共済病院

高齢化率の高い栄区にあつて、認知症治療に対しても力を入れており、地域のクリニックと日ごろから顔の見える関係に取り組んでいることから、高齢者へのがん治療、在宅医療との連携など地域に密着した医療を提供している。一方、希少がんである骨軟部腫瘍を扱っている全国でも数少ない施設でもある。

横浜医療圏には、すでに多くの拠点・指定病院があるが、それぞれの得意分野を活かした連携をすることで、がん患者の治療の選択が広がるとともに、横須賀・三浦医療圏にも近いことから、横浜に限らない医療圏との連携がさらに強化できる。

イ 日本医科大学武蔵小杉病院

放射線治療施設を導入が遅れたことや放射線治療医を確保できなかったことで、指定病院への申請が今回に至っているが、それ以外のがん治療実績は拠点病院の必須要件を十分満たしており、現時点では、放射線治療実績も要件を満たしている。さらに、県内でも少ない腫瘍内科の医師により、県内の拠点病院では対応していないいくつかの希少がんにも対応できている。

交通のアクセスが便利な場所にあることから、川崎に限らず、県内の他の医療圏からも患者を受け入れており、指定病院になることでさらに連携の地域も広がっていく。また、指定病院を目指すことで、がん患者会との連携や患者サロンの開催などが進められており、患者支援の面でも期待できる。

(4) 県指定病院への新規指定について（案）

以上のことから、横浜医療圏及び川崎南部医療圏におけるがん診療の質の向上及びがん患者への支援の充実が図られ、既に拠点病院等に指定されている病院や隣接する各医療圏とのがん診療の連携協力体制の整備がより一層図られることが期待できることから、当該2病院を新規指定する。

4 新規指定のスケジュール

月 日	内 容
令和7年1月7日まで	新規指定の申請受理
令和7年2月12日	現地確認
令和7年3月4日（本日）	令和6年度第2回神奈川県がん対策推進審議会にて、新規指定について審議
令和7年4月1日	新規指定